

平成 24 年 5 月

(第 1 回)

京都府教育委員会会議録

1 開 会 平成24年 5月10日 午後 2時  
閉 会 平成24年 5月10日 午後 3時

2 出席委員

大 橋 委 員 長 畑 委 員 谷 口 委 員

平 塚 委 員 田 原 教 育 長

3 欠席委員

冷 泉 委 員

4 出席事務局職員

橋 本	教育次長	小 橋	管理部長
永 野	指導部長	田 中	教育企画監
大 谷	総務企画課長	西 村	教職員課長
沖 田	学校教育課長	川 合	保健体育課長
丸 川	社会教育課長	片 山	総務企画課副課長
岡 田	総務企画課副主査	西 本	総務企画課主事

## 5 議事の概要

### (1) 開会

委員長が開会を宣告

### (2) 前会議録の承認

ア 4月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

### (3) 報告事項

ア 亀岡市立小学校交通事故に係る対応について

#### 【教育企画監の報告】

- 平成24年4月23日、走行中の車が亀岡市立安詳小学校へ登校中の児童の列に突っ込み、児童9名と付き添いの保護者1名が被害を受け、児童2名、保護者1名（胎児も死亡）が死亡したものである。
- この事故に対して、本庁内に学校安全対策監（教育次長）をトップとした緊急対策会議を設置するとともに、亀岡市教育委員会の要請を受け、重大事件・事故に対応する京都府学校危機支援チーム（CCST）を事故当日から現地に派遣した。
- CCSTについては、警察・病院と連携し被害児童・保護者の被害情報収集などを行う指揮監督隊（教育企画監を始めとする計4名）と、精神的ダメージが大きかった児童や教職員等への心のケアなどを行う直接ケア隊を派遣した。CCSTの派遣期間（3日間）終了後も、児童・教職員への心のケアにあたるため、スクールカウンセラーを5月8日まで3名配置、5月9日から末日まで2名配置し、養護教諭についても1学期末まで1名配置している。
- 通学路等の点検については、4月24日開催の京都府公立学校（園）長会議において通学路を含めた児童生徒等を取り巻く教育環境の総点検を依頼するとともに、5月1日には「学校安全の充実及び教育環境の総点検について」の文書を市町（組合）教育委員会及び府立学校へ発出し、登下校（園）時の安全指導、校外での教育活動及び家庭等の連携について依頼を行った。

#### 【質疑応答】（○：委員、◇：事務局）

- 犯罪被害者・家族への支援・関わり方について、京都犯罪被害者センターとの連携が必要であると考えます。
- ◇ 被害児童は長期的なケアが必要となるケースもあることから、警察を通じて京都犯罪被害者センターとの連携を依頼している。
- 京都府の公教育を受けた少年が罪を犯したことにショックを受けている。学校や地域、家庭など社会総がかりで青少年の健全育成に取り組み、次の対策をたてなければならない。
- ◇ 交通安全教室などの取組は進めているが、安全指導が単に技術的な取組だけでなく、「交通ルールを守る」という規範意識の観点から、警察や知事部局との連

携を強化したい。

- 今回の事故では、無免許運転による逮捕者も多く、警察等と連携して規範意識を育てる教育を更に取り組む必要があると感じる。
- ◇ 規範意識の育成や道徳教育など、問題の根幹部分をきっちりと指導することが重要である。

#### 【委員の意見等】

- 「自分の命をいかに守るか」を教えることはもちろんだが、「他者を傷つけないこと」を意識できる子どもを育てる取組を進めていただきたい。
- 事故当初、事故の情報はマスコミからのものだけで、市教育委員会から地元の私立幼稚園には何の情報も入ってこなかった。幼児・児童・生徒の安全に関わる問題については、公私を含め校種間の情報共有をもっと強化すべきと考える。

#### イ 学校における安全教育の手引（教職員携行版）について

##### 【教育企画監の報告】

- 平成24年1月に「学校における安全教育の手引」を作成・配布したが、各校での安全教育の充実、校内研修の活性化及び危機等発生時の安全指導、安全管理に関する事前の備えを日常的に図るため、教職員携行版（リーフレット）を作成し、府内公立学校（園）全教職員に配布した。
- リーフレットでは、危機等発生時に教職員が取るべき行動について、「学校」「登下校中」「校外活動中」という場面毎に具体的に掲載している。
- 喫緊の課題である「通学路を含む学校環境の安全点検」や「窓からの転落防止のための点検」についても触れるとともに、危機等発生時の「緊急連絡先」「自分の役割」等について教職員自らが記入し、日常的に活用できる内容となっている。
- 今後は、府内4カ所において防災教室指導者講習会を開催し、「学校における安全教育の手引」及び本リーフレットの活用について説明する。

#### ウ 平成25年度京都府公立学校教員採用選考試験公開セミナー（HEARTセミナー）について

##### 【教職員課長の報告】

平成24年5月12日に開催する教員採用選考試験公開セミナーの概要について説明。

- 当日は、「教員を目指す人たちへ」をテーマに橋本京子校長（精華町立山田荘小学校長）による講演を行った後、若手教員によるパネルディスカッションを行う。
- セミナーでは、京都府の施策や京都府の求める教員像などをアピールするとともに、学校現場や児童生徒の状況を踏まえた上で、どのような教員が求められているかを参加者に伝えたい。
- セミナー終了後にも、「先輩教員のアドバイスコーナー」や「採用選考試験Q&Aコーナー」を設けるなど志願者に丁寧に対応し、京都府への志願につなげたい。

#### エ 京都府教師力養成講座「夢・未来」オープン講座について

### 【教職員課長の報告】

- 教師力養成講座については、京都府を志願する大学生を対象に実施しており、現在、平成24年2月から6月まで第5期生50名を対象に講座を実施している。この講座をオープン講座として広く受講いただくことで、京都府の優れた実践を学んでいただくとともに、京都府の魅力を発信したい。
- 講義は、①京都府の教育の重点取組、②学校・地域・保護者の連携の重要性と実際の取組、③安全指導・安全管理の取組、④学校への苦情を通じた保護者の心情理解と対応、の4点をテーマとして、「教師に何が求められているのか」「教師はどうあるべきか」を参加者と一緒に考えるものである。
- オープン講座は2回（5月12日及び6月9日）を実施し、それぞれ200名程度の参加者を予定している。
- 大学の出前説明会についても、本年度、近畿を中心に40大学・46会場で実施するとともに、5月26日（土）には大阪駅前の会場で新たに説明会を実施して、優秀な志願者の確保を進めたい。

### 【質疑応答】（○：委員、◇：事務局）

- 採用者数が500名を超えている状況で、オープン講座の受講生が200名程度は少ないようにも感じるが。
- ◇ オープン講座については、できるだけ多くの方々に参加いただけるように、開催回数を2回としたところである。
- 大学の単位として認めてもらうような取組はできないか。
- ◇ 教員養成講座は、教育委員会の事業として実施していることから大学の単位としての取扱は難しいが、教員養成サポートセミナーは大学コンソーシアム京都や府内大学などと連携して大学の単位として取り扱っており、年々、取組を拡大している。
- これから、ゆとり教育世代の学生が受講することとなるが、これまでと同じ内容とならないよう配慮いただきたい。
- ◇ 養成講座を受講して採用した者については、採用後に受講した内容が実際に役に立っているかどうかを検証している。個々の講座についても、その都度検証しながら進めたい。
- 昔は個性的な教員が多かったが、最近は優秀でまじめな教員が多くなっているという話も聞く。講座の内容を見ていると真面目な内容が多いので、教員になろうと決断できていない学生が興味を持てるような講座があれば良いのではないか。
- ◇ 大学コンソーシアム京都では、教員に少し関心のある学生に対して3日間の講座を実施して、教員希望者の拡大にも取り組んでいるところである。
- 教員になって感動した経験・事例などを交えた講座内容としてはどうか。

### 【委員の意見等】

- 退職教職員表彰式後の懇談会でも、教師力養成講座の取組は意識の高い学生が受講しており、非常に良い取組であると聞いている。京都府の教員を目指している方全員が受講できれば、更に学校が良くなるのではないかと感じている。

オ 第60回日本PTA全国研究大会京都大会について

### 【社会教育課長の報告】

- 平成24年8月24日から開催される第60回日本PTA全国研究大会京都大会

は、京都府PTA協議会と京都市PTA連絡協議会が実行委員会を結成して、準備を進めている。

- 「いのち ところ ゆめ ～伝えよう つなげよう 育もう～」を大会スローガンにして、8月24日には府内6会場で分科会、8月25日に全体会が開催される。
- 全体会のオープニングでは、京都の大学生による「狂言」や「京炎そでふれ」が、フィナーレでは東日本大震災で被災された方を応援するため「がんばろう日本！」と題して小学生500人による合唱が行われる。

カ 平成24年度教育委員会運営目標について [非公開]

#### (4) 議決事項

ア 第17号議案 平成24年5月府議会臨時会の議決を経るべき議案に対する意見について [非公開]

[原案どおり可決。]

イ 第18号議案 平成24年度京都府立学校教職員表彰及び京都府教育委員会事務局職員表彰の受賞者の決定について [非公開]

[原案どおり可決。]

#### (5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号及び第4号)

報告事項カ及び議決事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

#### (6) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

大 橋 委 員 長

冷 泉 委 員

畑 委 員

谷 口 委 員

平 塚 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員